



新年おめでとうございます。

先生方におかれましては、健やかに新春をお迎えのことと存じます。

広島市医師会をはじめ安佐、安芸地区、大竹市、佐伯地区、山県郡の各医師会の会員の先生方には日頃のご利用ならびにご指導に感謝し、厚く御礼を申し上げます。

昨年、新型コロナウイルス感染症は5類感染症に移行され、診療所での抗原検査が普及してまいりました。それに伴い、当検査センターでの新型コロナウイルス PCR 検査の受託件数は大幅に減少しております。さらに、その他の臨床検査分の受託件数も、コロナ禍以前（2019年）と比較いたしますと減少傾向にあります。このような状況の中、業務量に見合った体制の整備と経費削減により経営改善を図るため、検査機器の統合と検査工程の自動化に着手いたしました。検査機器の統合は既に実現し、検査工程の主要部分は本年1月から自動化しております。また、「品質の向上」と「業務の効率化」を目指して、2027年5月を稼働目標としている次期基幹システム構築のためのプロジェクトチームを立ち上げ、活動を開始いたしました。メンバーには若手を抜擢し次世代の人材育成も行ってまいります。

従来から継続している診療支援の「疾患別検査ガイド」は、昨年10月に「疾患別検査ガイド食物アレルギー2023」の学術講演会を開催させていただきました。現在は、昨年CKD診療ガイドラインが改訂されたことを受け、「疾患別検査ガイドCKD慢性腎臓病2018」の改訂作業を開始しております。

2006年8月から2009年3月には、感染症に特化した「症例報告 感染症を知るシリーズ」を26疾患発刊しておりました。こちらも、時間経過とともに検査法の進歩やガイドラインの改訂などがありましたので、改訂版を順次発刊していく予定です。疾患別検査ガイドとともにご活用いただけますと幸いです。

本年もこれまで以上に品質の維持・向上に努め、先生方に安心してご利用いただけるよう、役職員一同、誠心誠意努めてまいります。何卒お引き立ていただきますよう、お願い申し上げます。